

武蔵野東小学校

2020 年度 学校自己点検・評価

平成 14 年 4 月に施行された小学校設置基準等で、学校評価の実施とその結果の公表が努力義務化されて以来、本校では平成 15 年度より、自己点検評価票を作成しております。そして、平成 19 年度からは、本校の教育方針・目標・重点とその評価を「自己点検評価票」としてまとめ、ホームページにて公表することにいたしました。本校の現状をご理解いただく参考となれば幸いです。尚、本校はこの自己点検評価を基に、改善・改革に取り組み、より良い教育活動を行うよう努めております。

教育目標	正しく(正しい知識と正しい行動)、強く(強い体と根気のよい心)、美しく(まことの友愛)を校訓と定め、体力づくりと体験学習を基盤にした知・徳・体の学習により、視野の広い、豊かな感性とたくましい生活力を持つ児童を育成する。
教育の特色	①混合教育 健常児と自閉児が共に学ぶ生活の中から、「思いやり」「やさしさ」「助け合い」など人間愛の教育、心の教育を目指す。 ②小中一貫教育 小中一貫を基本とした学習を通して、基礎学習力・基礎学力を養い、発展的な学習にも取り組ませる。 ③多彩な教育 それぞれが個性と能力を発揮できるよう多彩な教育と体験を積み上げ、一人ひとりの可能性をじっくり、大きく伸ばしていく。

I 教育の目標と重点	取り組みとその評価
2020 年度の重点項目	「学び方を広げる～メディアの活用～」(3 年目) 「自立に向けた生活習慣教育」(CDE クラス)

<p>具体的な取り組み</p>	<p>「学び方を広げる～メディアの活用～」(3年目) インターネットを使った調べ学習 視覚的な情報も活用しながら、まとめる・発表する・グループ学習をする スピーチ力の向上 他者の考えを受け入れる力の向上 コミュニケーション力の向上 教科以外の活動への活用 プログラミング教育 タブレットの一人一台の活用に向けて</p> <p>「自立に向けた生活習慣教育」(CDE クラス) 日常生活のルールとマナー</p>
<p>成果と達成度</p>	<p>「学び方を広げる～メディアの活用～」(3年目) 臨時休校中は、Zoom を利用したホームルームや授業を実施すると共に、授業動画配信も実施し、カリキュラムの進行に大きな影響を与えることなく学びを継続することができた。</p> <p>通常登校後においては、1・2 年生では、植物の生長の様子をカメラアプリで記録し、よりわかりやすい観察記録を作成したり、描画アプリを活用したショウ&テルによるスピーチを行ったりすることができた。3年生以上では、Keynote (iOS アプリ)を活用したプレゼンテーションや、係活動の伝達を行ったりすることができた。</p> <p>また、12月に行った全校スピーチコンテストにおいても、全校児童一人ひとりがタブレットを使用し、カメラアプリや Keynote (iOS アプリ)を活用してスピーチを行うことができた。3・4年生では、算数の学習において、AI型タブレット教材「Qubena」を新たに導入し、児童一人ひとりの習熟度に合わせた問題に取り組みながら基礎学力の強化を図った。3・4・5年生においては、「英検 Jr.オンライン版ラーニング」に取り組み、英語力の強化につなげることができた。また、Google Classroom を活用した動画配信や、学習教材の配信を行い、タブレットを使った家庭学習にも取り組むことができた。</p> <p>学校支援システム「みらいスクールステーション」を活用した活動では、朝や帰りの会での音読・英語の読み聞かせを行ったり、校内 Live 放送による友愛会 部会報告や、クイズ等のお楽しみ企画動画の配信を行うなど、教室内でできる活用方法の幅を広げることができた。</p> <p>さらに、プログラミング学習として、アルゴリズムを基本としたアンプラグドプログラミングや、iOS アプリを使用したビジュアルプログラミング、実際にロボットなどを操作してプログラミング作りを体験するフィ</p>

	<p>ジカルプログラミングに取り組み、論理的思考力を育むことができた。子どもたち自身がタブレットや電子黒板等を中心としたメディア機器の使い方を学び、目的に合わせて活用していくことで、興味・関心を持ち、自ら学ぶ意識を高めることができた。</p> <p>「自立に向けた生活習慣教育」(CDE クラス)</p> <p>日々行っている生活習慣教育について、2020年度はルールとマナーという観点で見直しを行った。年度の初めにマニュアル冊子「みんなのルール・マナー」を作成、また配信動画により保護者に1年間の取り組みについて説明を行った。子どもたちが生活の中でルールやマナーを身につけふるまうことで、うまく人と関わっていけること、将来自立していくための大切な社会性に繋がっていくことなど、ルールとマナーの大切さを伝えてきた。</p> <p>年度中も、たびたび動画を作成し児童、保護者に分かりやすく発信をした。動画は着替え、整理整頓、食事、トイレの使い方、衛生面、言葉遣いなどである。授業の中でもこの動画を使い年齢に応じ個に合わせたルール、マナーの指導を展開した。研修会や懇談のたびに保護者とも個々の児童の日常生活のルールとマナーについて情報交換を行った。結果としてこの1年で家庭、学校での指導が充実し児童の生活習慣に変化があった。</p>
<p>教員・児童・保護者への浸透度</p>	<p>教員、児童ともに日々の教育活動の中で積極的に推進し浸透している。保護者へは保護者会やホームページにて取り組みを紹介。</p>
<p>II 教育環境</p>	
<p>校舎・設備等の質的・量的整備状況</p>	<p>点検・補修・改善・管理を定期的計画的に行えた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・西館3階教室の空調機更新 ・西館3階教室 仕切、天井改修 ・職員室 wi-fi 配線工事 ・学校田排水板の修理 ・校庭ラバーチップ修繕
<p>教育機器の適切性と充実度</p>	<p>・iPad や電子黒板を使った指導の研究を進めた。</p>
<p>III 教育課程</p>	
<p>カリキュラムの特色化と適切性</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・知・徳・体、バランスのとれたカリキュラムを編成している。 ・専科制を取り入れている。

教育システム全体の工夫と充実度	共有サーバーによるデータ管理の充実、教務ソフトによる出席簿や成績票の作成 みらいスクールステーションの活用
行事活動	新型コロナウイルス感染防止のために大きく変更があった。 入学式(1年生のみ、時間短縮)、宿泊学習(中止)、沖縄学習(2回延期後、中止、3日間の校内代替活動あり)、盆踊り(中止)、体育祭(午前中)、学園祭(二部制、模擬店なし)、授業参観(中止、5日間に分散)、スケート教室(中止)、発表会(2日間に分散、会場変更)、スキー教室(中止)、卒業式(6年生のみ、時間短縮、祝う会なし) 実施した行事については、内容を工夫して児童の経験を深めるものになった。
校外教育活動	・宿泊学習は上記の通りすべて中止
IV 教科指導	
指導計画と教員配置	各教科年間指導計画が立てられ、適切な教員配置の中、授業数も確保された。 緊急事態宣言が出され、4月～5月までの間、休校となったが、動画配信や双方通信を使った学習・授業を展開したために授業数のほとんどは確保されたと判断した。夏期・冬期休暇を短くして登校日を確保することとした。
習熟度別授業	CDE組は、各学年で「国語」・「算数」の授業時に3つのグループに分かれ実施。
個に即した授業	放課後補習を実施。 3・4年ではタブレット端末を使った個別学習(Qubena)を実施 3～5年では英検 Jr.オンライン版ラーニングも活用
資格取得状況	<ul style="list-style-type: none"> ・英検 2級1名、3級3名、4級13名、5級30名 ・漢字検定 準2級1名、3級2名、4級8名、5級59名、6級59名 7級70名、8級60名、9級74名、10級58名 ・珠算検定 3級2名、4級1名、5級1名、6級3名、7級2名 8級2名、9級12名、10級8名 ・英検ジュニア(受験者数) ゴールド20名、シルバー33名、ブロンズ24名
V 児童の活動	

友愛会(児童会)活動の充実	役員会、体育部会、音楽部会、学校美化部会、保健部会、放送部会、新聞部会、図書部会、理科部会、ボランティア部会で組織し実施。
部活動	サッカー部、器械体操部、剣道部、ダンス部、吹奏楽部に3年生以上が入部(任意)でき、週2日放課後活動している。その他にひがしっ子合唱団やYOSAKOI同好会、エコクラブや中学校陸上部顧問の指導によるアスリートクラブ(陸上)があり、部活動と掛け持ちができるようになっている。 新型コロナウイルス感染防止のため、ほとんどの期間、休部となった。
VI 進学指導	
進学学習の充実	1~4年生 AB組は、必要に応じて放課後に補習が行われ、5.6年生 AB組は進学学習(希望制)を行い、基礎学力を養い、発展的な学習にも取り組めた。
進学状況	武蔵野東中学校 51名(AB組 31名、CDE組 20名)・他私立 27名(AB組 24名、CDE組 3名)・都立 6名(AB組 3名、CDE組 3名)・公立 4名(AB組 1名、CDE組 3名)・海外校 1名(AB組 1名)
VII 研修	
内部研修	・年度当初教職員研修会(学園・各園校)実施・教職員学園研修会実施・学園教科研究部会、小学校教科研究部会実施 新型コロナウイルス感染防止のため一部中止
外部研修	・東京私立初等学校協会研修会参加 ・日本私立小学校連合会研修会参加 新型コロナウイルス感染防止のため一部中止、一部オンライン研修
VIII その他の教育活動と公開性	
保護者の協力	・土曜日自由登校を「JoyDay」と称して保護者による企画・運営のイベントを実施(1回目は中止) ・学園祭では、東っ子商店部、おみやげ部、東くじ部に分かれて、子どもを楽しませてくれた。
地域との連携	・新型コロナウイルス感染防止のため連携はできなかった。
e パル(学童)利用状況	AB組 4,741名 CDE組 1,194名 合計 5,935名
情報発信	・WEB上にて毎日ホームページを更新 ・Facebookでの情報発信もした。

IX 安全・危機管理	
緊急時対応	行政とも連携し、マニュアルに沿って訓練した。 武蔵野市の防災無線定期訓練に参加した。
防犯・防災チェック態勢	教職員による校務「防犯防災部」を設置し、教職員防犯訓練やAED講習など実施。また施設設備の安全点検を定期的に行う中で危険箇所の早期発見早期対応に努めた。
情報セキュリティ	・マニュアルや規定に則って行う。 ・PCウイルス対策ソフトインストール
X 保健・衛生	
児童及び教職員の健康管理	・新型コロナウイルス感染防止、休校のため実施時期がずれた。 ・健康診断実施(10月) ・身体測定 年3回実施 ・職員検診実施(1月)(検診結果を教職員に配布) ・産業医による衛生委員会を年8回実施し、教職員の健康管理に努めた。

2021年度取り組み

今年度は、①教具を新しく揃えたりデジタル教材やAI教材を積極的に活用したりすること、②教科の枠を越えた学習を実践すること、③ICT教育と英語教育を一層強化すること、④これまでの学校行事の内容の見直しを図ることに取り組みます。

CDEクラスは「コミュニケーション力の向上」を重点に掲げて、人と関わる術を身に付けていきます。